

千高教研数第10号  
平成20年7月4日

各高等学校長 様

千葉県高等学校教育研究会  
数学部会部会長 中村 秀夫  
(公印省略)

平成20年度千葉県高等学校教育研究会数学部会見学研修会の実施について(依頼)

このことについて、数学部会活動の一環として、見学研修会を下記のとおり実施いたします。

つきましては、貴校関係職員の派遣について格別の御高配をお願い申し上げます。

記

- 1 主催 千葉県高等学校教育研究会数学部会
- 2 後援 千葉県教育委員会
- 協力 日本大学理工学部
- 3 期日 平成20年8月11日(月)
- 4 場所 日本大学理工学部 船橋キャンパス  
〒274-8501 千葉県船橋市習志野台7-24-1
- 5 目的 数学に関する知識の習得を図るとともに、高校と大学の連携によって教科の指導力を向上させる。

6 研修内容及び日程

受付 9:00～9:50  
開会 9:50～10:00  
講義(午前の部) 10:00～12:00

<b>講座A-1</b> <b>「日本大学理工学部施設見学」</b> ・マイクロ機能デバイス研究センター ・文科省特色GP未来博士工房 ・テクノプレース15実験設備	<b>講座B-1 (12号館1階グループ学習室)</b> <b>「KNOPPIX/Mathの教育利用研修」</b> インストール不要で、DVD1枚で起動できるLinuxに、数学で使えるアプリケーションを100以上収録した「数学のおもちゃ箱」を用いて授業に生かす方法を探ります 講師:数学部会
--	--

昼食・休憩 12:00～13:00  
講義(午後の部) 13:00～14:30

<b>講座A-2 (5号館未来博士工房)</b> <b>講演会</b> <b>「先端ロボット技術で実現、宇宙エレベータとその可能性」</b> 講師:日本大学理工学部 教授 青木義男先生	<b>講座B-2 (12号館1階グループ学習室)</b> <b>「数式処理ソフトMaximaを授業に生かす」</b> 式の因数分解から方程式を解く、グラフを描くなどができる数式処理ソフトMaximaを授業に生かす方法を考えます 講師:数学部会
--	--

研究協議 14:40～15:40 (5号館1階未来博士工房)

**「高大連携のための「高校生ものづくり講座」,「カレッジインターンシップ」の紹介」**

日本大学理工学部が行っている、千葉県の高校や中学に対しての理数系離れの抑制、理数系クラブ活動支援の事例の紹介と、意見交換。

閉会式・解散 15:50

## 7 参加方法

### (1) 参加申込

別紙のファクシミリ送付票をFAXにより、平成20年8月1日(金)までにお願います。その際に、午前の部・午後の部ともにそれぞれ受講したい講座A, Bのいずれかを選択してください。どの講義も定員は50名です。受付は先着順とさせていただきます。尚、電話での申し込みはご遠慮願います。

申込先	千葉県立木更津高等学校内 千葉県高等学校教育研究会数学部会事務局 佐藤 啓之 宛
FAX	0438-22-0376

### (2) 参加費

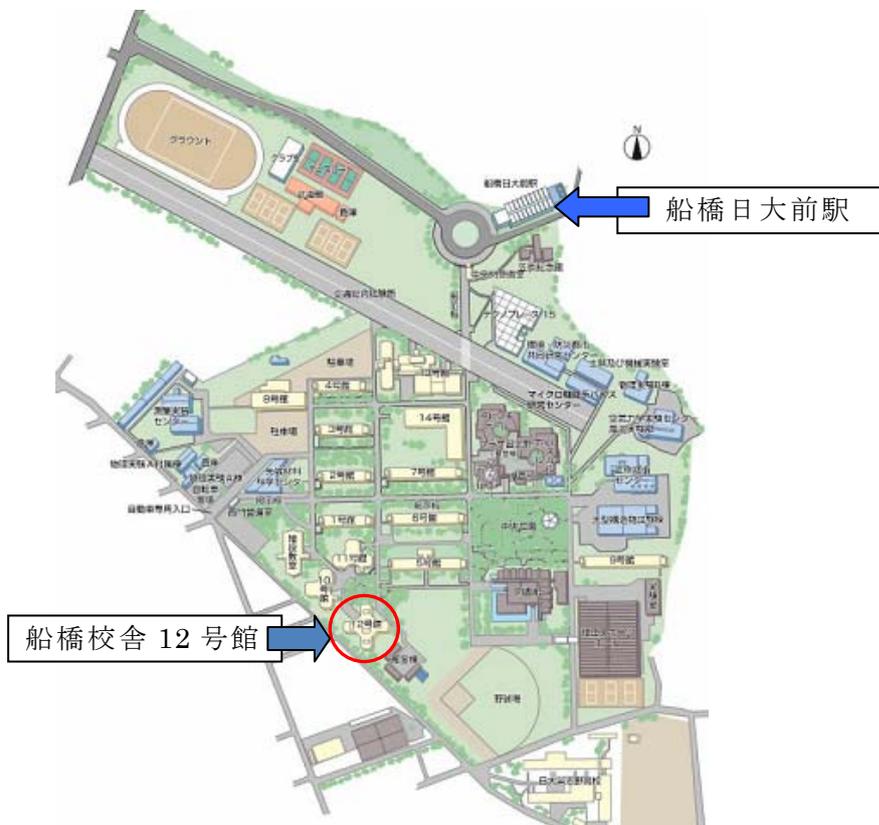
1,000円 当日受付にて徴収します。

### (3) 交通機関 東葉高速鉄道「船橋日大前」駅 下車徒歩1分 (東京メトロ東西線乗り入れ)

## 8 注意事項

- ・講座B-1、B-2は大学の設備を用いてコンピュータを用いた実習講義を行います。昨年のようにコンピュータを持ち込んだ実習はありません。
- ・講座Bで使用するDVDは、参加者全員に配布する予定です。
- ・大学内は一般車の乗り入れができませんので、車での来場はご遠慮ください。

## 9 案内図 (アクセスマップは、<http://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/access.html>をご覧ください)



理工学部船橋校舎キャンパスマップ